

平成 26 年 9 月 9 日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成 26 年 7 月 30 日付け厚生労働省発食安 0730 第 4 号をもって諮問された、食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）第 11 条第 1 項の規定に基づくシアズファミドに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

シアゾファミド

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：シアゾファミド [Cyazofamid (ISO)]

(2) 用途：殺菌剤

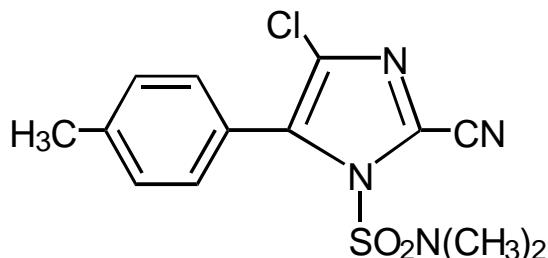
シアノイミダゾール系化合物の殺菌剤である。ミトコンドリア内膜電子伝達系複合体ⅢのQiサイトを阻害することにより殺菌作用を示すと考えられている。

(3) 化学名：

4-chloro-2-cyano-*N,N*-dimethyl-5-*p*-tolylimidazole-1-sulfonamide (IUPAC)

4-chloro-2-cyano-*N,N*-dimethyl-5-(4-methylphenyl)-1*H*-imidazole-1-sulfonamide
(CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式 C₁₃H₁₃ClN₄O₂S

分子量 324.79

水溶解度 0.121 mg/L (pH5, 20°C)

0.107 mg/L (pH7, 20°C)

0.109 mg/L (pH9, 20°C)

分配係数 log₁₀Pow = 3.2 (25°C)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法(昭和23年法律第82号)に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

(1) 国内での使用方法

①9.4%シアゾファミドフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釀倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数	
ぶどう	べと病	1000～2000倍	200～700L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内	
かんきつ	褐色腐敗病	2000倍		収穫前日まで				
いちじく	疫病			根雪前				
小麦	褐色雪腐病	1000倍	100L/10a	無人ヘリコプターによる散布	3回以内	3回以内	4回以内 (種子への処理は1回以内、散布は3回以内)	
		250倍	25L/10a					
		8倍	0.8L/10a					
あずき	茎疫病	原液	種子重量の2%	は種前	1回	種子塗沫	4回以内 (種子への処理は1回以内、散布は3回以内)	
		1000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布		
だいす	茎疫病	原液	種子重量の2%	は種前	1回	種子塗沫	4回以内 (種子への処理は1回以内、散布は3回以内)	
		1000～2000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布		
えだまめ	茎疫病	原液	種子重量の2%	は種前	1回	種子塗沫	4回以内 (種子への処理は1回以内、散布は3回以内)	
		1000～2000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布		
	べと病							

① 9.4%シアゾファミドフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釗倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数					
ばれいしょ	疫病	1000～2000 倍	100～300L/10a	収穫 7 日前まで	4 回以内	散布 無人ヘリコプターによる散布	4 回以内					
		375 倍	25L/10a									
		600 倍	40L/10a									
		32 倍	3.2L/10a									
きゅうり メロン	べと病	1000～2000 倍	150～300L/10a	収穫前日まで	4 回以内	散布	4 回以内					
すいか	褐色腐敗病				2 回以内		2 回以内					
とうがん	疫病	2000 倍			4 回以内		4 回以内					
ズッキーニ	べと病	1000 倍	100～300L/10a		3 回以内		3 回以内					
かぼちゃ	べと病 疫病	2000 倍	150～300L/10a	4 回以内	4 回以内	散布	4 回以内					
トマト ミニトマト	疫病	1000～2000 倍										
ピーマン とうがらし類												
なす	褐色腐敗病	2000 倍		収穫 3 日前まで	3 回以内		3 回以内					
ねぎ	べと病				4 回以内		4 回以内					
わけぎ					3 回以内		3 回以内					
葉たまねぎ	べと病 白色疫病	2000 倍	100～300L/10a	収穫 7 日前まで	4 回以内	灌注	4 回以内					
たまねぎ					4 回以内		6 回以内 (育苗期の灌注は1回以内、定植時の灌注は1回以内、散布は4回以内)					
キャベツ はくさい	べと病	2000 倍	100～300L/10a	収穫 3 日前まで	4 回以内	散布	6 回以内 (育苗期の灌注は1回以内、定植時の灌注は1回以内、散布は4回以内)					
	根こぶ病		250mL/株	定植時	1 回	灌注						
	500 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱 またはペーパーポット 1 冊(30×60cm、使用土壤約 2.5～7L) 当たり 2L	定植前日～ 当日	1 回								

①9. 4%シアゾファミドフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釗倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
非結球あぶら な科葉菜類	白さび 病	2000 倍	100~300L/10a	収穫 3 日前ま で	3 回 以内	散布	3 回以内
なばな類 (なばなを除 く)							
なばな	根こぶ 病	500 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱または ^一 ハ ^一 ホ ^一 ット 1 冊 (30×60cm、 使用土壤約 2.5~ 7L)当たり 2L	定植前日 ~ 当日	1 回	灌注	4 回以内 (灌注は 1 回以 内、散布は 3 回 以内)
ブロッコリー	べと病	2000 倍	100~300L/10a	収穫 3 日前ま で	3 回 以内	散布	4 回以内 (灌注は 1 回以 内、散布は 3 回 以内)
	根こぶ 病	500 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱または ^一 ハ ^一 ホ ^一 ット 1 冊 (30×60cm、 使用土壤約 2.5~ 7L)当たり 2L	定植前日 ~ 当日	1 回	灌注	
みょうが (花穂)	根茎腐敗 病	500 倍	3L/m ²	生育期 ただし、収穫 3 日前まで	3 回 以内	土壤灌 注	3 回以内
みょうが (茎葉)				みょうが(花 穂)の収穫 3 日 前まで ただし、花穂 を収穫しない 場合にあって は開花期終了 まで			
しょうが		500 倍	1~3L/m ²	生育期 ただし、収穫 30 日前まで			
葉しょうが		500~ 1000 倍	2~3L/m ²	生育期 ただし、収穫 3 日前まで			
こんにゃく	根腐病	500~ 1000 倍	3L/m ²	収穫 14 日前 まで			
畑わさび	白さび病	2000 倍	150~300L/10a	収穫 7 日前ま で	2 回 以内	散布	2 回以内
わさび				畑育苗期			

①9.4%シアゾファミドフロアブル(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釗倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
エンサイ	白さび病	2000 倍	100～300L/10a	収穫 3 日前まで	3 回以内		3 回以内
かぶ	べと病 白さび病						
だいこん	ワッカ症 白さび病						3 回以内
はつかだいこん	ワッカ症 白さび病 べと病						
みつば	べと病	2000 倍	100～300L/10a	収穫 3 日前まで ただし、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで	2 回以内	散布	2 回以内
レタス 非結球レタス							3 回以内
ほうれんそう							
おかげじき			150～300L/10a	収穫 3 日前まで	2 回以内		2 回以内
らっきょう	白色疫病		100～300L/10a		4 回以内		4 回以内
いちご	疫病	500～1000 倍	50mL/株 100mL/株	育苗期 生育期 ただし、収穫 30 日前まで	2 回以内 2 回以内	土壤灌注	4 回以内 (育苗期は 2 回以内、定植後は 2 回以内)
稻(箱育苗)	苗立枯病 (ピシウム菌)	1000 倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壤約 5L)当たり 0.5L	は種時 又は 発芽後 ただし移植 15 日前まで	1 回		1 回

②34.5%シアゾファミドフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釗倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	疫病	4000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前まで	4 回以内	散布	4 回以内
		1000～2000 倍	25 L/10a				
たまねぎ	べと病	8000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (種子への処理は 1 回以内、散布は 3 回以内)
だいす	べと病	4000～8000 倍					
	茎疫病	4000 倍					

③3.2%シアゾファミド・40.0%TPNフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釗倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 黒星病	1000 倍	150～300 L/10a	収穫前日まで	4 回以内	散布	4 回以内
メロン	べと病 つる枯病 うどんこ病			収穫 3 日前まで			
すいか	褐色腐敗病 炭疽病 つる枯病						

③3.2%シアゾファミド・40.0%TPNフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	べと病 灰色かび病				4回以内		4回以内
はくさい	べと病 白さび病 黒斑病 白斑病	1000倍	100～300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内		6回以内 (散布は4回以内、灌注(本圃)は1回以内、灌注(育苗トレイ)は1回以内)
トマト	疫病 葉かび病 輪紋病		150～300 L/10a	収穫前日まで	4回以内		4回以内
もも	黒星病	1000倍	200～700 L/10a	収穫前日まで	2回以内		2回以内
ネクタリン	黒星病						
ぶどう	べと病 晩腐病 黒とう病	2000倍	200～700 L/10a	収穫60日前まで	3回以内		3回以内
なす	褐色腐敗病 黒枯病			収穫前日まで	4回以内		
ピーマン	疫病 斑点病	1000倍	100～300 L/10a				4回以内
ねぎ	べと病 黒斑病			収穫14日前まで	3回以内		
レタス	べと病 すそ枯病						3回以内

(2) 海外での使用方法

①シアゾファミドフロアブル（米国）

作物名	適用病害虫名	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
にんじん	<i>Pythium ultimum</i> による病害 しみ腐病 根腐病	43.8mL/10a (17.5g ai/10a)	収穫 14 日前 まで	5 回以内	散布
うり類	べと病 疫病	15.5~20.3 mL/10a (6.2~8.1g ai/10a)	収穫当日ま で	6 回以内	散布
ホップ	<i>Pseudoperonospora humuli</i> による病害 べと病	15.3~20.1 mL/10a (6.05~7.96g ai/10a)	収穫 3 日前 まで	6 回以内	散布

ai:active ingredient (有効成分)

②シアゾファミドフロアブル（台湾）

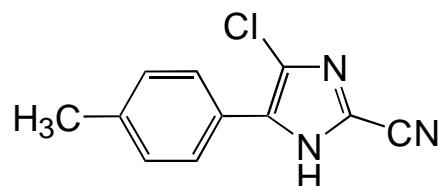
作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
パパイヤ	疫病	2000 倍	収穫 12 日前 まで	6 回以内	散布

3. 作物残留試験

(1) 分析の概要

①分析対象の化合物

- ・シアゾファミド
- ・4-クロロ-5-p-トリルイミダゾール-2-カルボニトリル(以下、代謝物Bという)



代謝物B

②分析法の概要

試料からアセトニトリル又はアセトニトリル・水(4:1)混液で抽出し、C₁₈カラム、ジビニルベンゼン-N-ビニルピロリドン共重合体(HLB) カラム、又はC₁₈カラム及びグラフ

アイトカーボン・エチレンジアミン-N-プロピルシリル化シリカゲル(PSA) 積層カラムで精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計(LC-MS又はLC-MS/MS)を用いて定量する。代謝物Bについては、換算係数1.49を用いてシアゾファミドに換算した値で示す。

定量限界 シアゾファミド : 0.005~0.5 ppm
代謝物 B : 0.01~0.05 ppm

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2を参照。

4. ADIの評価

食品安全基本法(平成15年法律第48号) 第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたシアゾファミドに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量 : 17.1 mg/kg 体重/day (発がん性は認められなかった。)

(動物種) ラット
(投与方法) 混餌投与
(試験の種類) 慢性毒性／発がん性併合試験
(期間) 2年間

安全係数 : 100

ADI : 0.17 mg/kg 体重/day

5. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、欧州連合(EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてにんじん、ホップ等に、カナダにおいてぶどう、トマト等に、EUにおいてぶどう、トマト等に基準値が設定されている。

6. 基準値案

(1) 残留の規制対象

シアゾファミドとする。

一部の作物残留試験においてシアゾファミド及び代謝物Bの分析が行われているが、代謝物Bはシアゾファミドと比較して十分に低い残留量であることから、規制対象として代謝物Bを含めないこととした。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物中の暴露評価対象物質としてシアゾファミド(親化合物のみ)を設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限までシアゾファミドが残留していると仮定した場合、食品摂取頻度・摂取量調査結果^{注1)}における各食品の平均摂食量に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	TMDI／ADI (%) ^{注2)}
国民平均	13.0
幼小児（1～6歳）	22.6
妊婦	13.3
高齢者（65歳以上）	15.6

注1) 平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書より

注2) TMDI試算は、基準値案×各食品の平均摂取量の総和として計算している。

シアゾファミド国内作物残留試験一覧表

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【シアゾファミド/代謝物B ^{注2)} 】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
きゅうり (果実)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 0.08/0.01 圃場B : 0.23/<0.01
メロン (果実)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : <0.01/<0.01 圃場B : <0.01/<0.01
トマト (果実)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 0.18/<0.01 圃場B : 0.52/0.01
ばれいしょ (塊茎)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A : <0.01/<0.01 圃場B : <0.01/<0.01
ばれいしょ (塊茎)	2	9.4%フロアブル	250倍 散布 25L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A : <0.01/<0.01 (4回、7日) (#) ^{注3)} 圃場B : <0.01/<0.01 (4回、7日) (#)
ばれいしょ (塊茎)	2	9.4%フロアブル	32倍 無人ヘリコプターによる散布 3.0-3.2L/10a	4回	7, 14日	圃場A : <0.01/<0.01 圃場B : <0.01/<0.01
小粒ぶどう (果実)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 300L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A : 6.36*/0.07 (*3回、21日) 圃場B : 1.90*/0.02 (*3回、21日)
大粒ぶどう (果実)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 300L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A : 0.53*/0.01 (*3回、21日) 圃場B : 1.26/0.01
はくさい (茎葉)	2	9.4%フロアブル	500倍 灌注 2L/セルトレイ +2000倍 散布 300L/10a	1+4回	14, 21, 28日	圃場A : 0.02/<0.01 (5回、14日) 圃場B : 0.24/<0.01 (5回、14日)
はくさい (茎葉)	2	9.4%フロアブル	500倍 灌注 2L/セルトレイ +2000倍 植付時株元灌注 250mL/株 +2000倍 散布 200, 300L/10a	1+1+4回	14, 21, 28日	圃場A : 0.08/<0.01 (6回、14日) 圃場B : 0.32/<0.01 (6回、14日)
はくさい (茎葉)	2	9.4%フロアブル	250倍 灌注 1L/セルトレイ +2000倍 植付時株元灌注 250mL/株 +2000倍 散布 200L/10a	1+1+4回	3, 7, 14日	圃場A : 0.10/<0.01 (6回、3日) (#) 圃場B : 0.72/<0.01 (6回、3日) (#)
たまねぎ (鱗茎)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A : <0.01/<0.01 圃場B : <0.01/<0.01
ピーマン (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 0.33/0.01 圃場B : 0.22/<0.01
すいか (果肉)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 200, 217.7L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : <0.01/<0.01 圃場B : <0.01/<0.01
キャベツ (茎葉)	2	9.4%フロアブル	500倍 灌注 2L/セルトレイ	1回	75日	圃場A : <0.01/<0.01
キャベツ (茎葉)	2	9.4%フロアブル	250倍 灌注 1L/セルトレイ +2000倍 植付時株元灌注 250mL/株 +2000倍 散布 150-250, 80-200L/10a	1+1+4回	3, 7, 14日	圃場B : <0.01/<0.01
						圃場A : 0.28/<0.01 (6回、3日) (#) 圃場B : 0.16/<0.01 (6回、3日) (#)
小麦 (玄麦)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 100L/10a	3回	239日 187日	圃場A : <0.01/<0.01 圃場B : <0.01/<0.01
小麦 (玄麦)	2	9.4%フロアブル	250倍 散布 25L/10a	3回	267日 255日	圃場A : <0.01/<0.01 圃場B : <0.01/<0.01
小麦 (玄麦)	2	9.4%フロアブル	8倍 無人ヘリ散布 0.8, 0.86-0.90L/10a	3回	244日 117日	圃場A : <0.01/<0.01 圃場B : <0.01/<0.01
なばな (茎葉・花蕾)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 400, 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 0.02/- (3回、3日) (#) 圃場B : 1.16/-
なばな (花蕾)	2	9.4%フロアブル	500倍 灌注 2L/セルトレイ +2000倍 散布 300L/10a	1+3回	3, 7日	圃場A : 0.62/- 圃場B : 0.84/-
はたけな (葉菜)	1	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 5.1/-
はたけな (葉菜)	1	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 12.5/-
はたけな (花蕾)	1	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 1.3/-
はたけな (花蕾)	1	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 1.5/-
こまつな (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150, 100L/10a	3回	3, 7日	圃場A : 9.10/0.18* (*3回、7日) 圃場B : 3.76/0.05
ほうれんそう (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150, 134.7L/10a	3回	3, 7日	圃場A : 16.2/0.44 圃場B : 7.17*/0.16 (*3回、7日)
なす (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 0.11/<0.01 圃場B : 0.10/<0.01
ちんげんさい (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200L/10a	3回	3, 7日	圃場A : 1.02/0.04 圃場B : 0.76/0.02

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【シアゾファミド/代謝物B ^{注2)} 】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
みずな (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : 1.85 / 0.08 圃場B : 4.94 / 0.09
いちご (果実)	2	9.4%フロアブル	500倍 灌注 50mL/ホット +500倍 灌注 100mL/株	2+2回	30, 37, 44日	圃場A : 0.29 / 0.01 圃場B : <0.01 / <0.01
あづき (乾燥子実)	2	9.4%フロアブル	原液 播種時種子乾粉衣 種子重量2% +1000倍 散布 150, 200L/10a	1+3回	7, 14, 21日	圃場A : 0.02 / <0.01 圃場B : 0.02 / <0.01
かぼちや (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : 0.06 / <0.01 圃場B : 0.17 / <0.01
ブロッコリー (花蕾)	2	9.4%フロアブル	500倍 灌注 2L/セルトイ +2000倍 散布 200L/10a	1+3回	3, 7, 14日	圃場A : 0.24 / 0.02 圃場B : 0.40 / 0.02
みょうが (花穂)	2	9.4%フロアブル	500倍 土壌灌注 3000L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 0.89 / 0.02 圃場B : 3.50 / 0.07
しょうが (塊茎)	2	9.4%フロアブル	500倍 土壌灌注 3000L/10a	3回	30, 45, 60日	圃場A : 0.23* / <0.01 (*3回、45日) 圃場B : 0.04 / <0.01
温州みかん (外果皮)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 500L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A : 3.38* / 0.12 (*3回、7日) 圃場B : 1.51 / <0.05
温州みかん (果肉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 500L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A : 0.25 / <0.01 圃場B : 0.05 / <0.01
すだち (果実)	1	9.4%フロアブル	2000倍 散布 500L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A : 1.06 / <0.01
かぼす (果実)	1	9.4%フロアブル	2000倍 散布 640L/10a	3回	1, 7, 13日	圃場A : 0.35 / <0.01
レモン (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A : 2.03 / 0.03 圃場B : 0.33 / 0.04* (*3回、14日)
夏みかん (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 500L/10a	4回 3回	1, 7, 14日	圃場A : 0.54 / 0.02 (#) 圃場B : 0.47* / 0.02** (*3回、7日 **3回、14日)
畠わさび (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300L/10a	2回	7, 14日	圃場A : 6.29 / - 圃場B : 3.06 / -
畠わさび (根茎)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300L/10a	2回	7, 14日	圃場A : 0.70 / - 圃場B : 0.49 / -
畠わさび (花、花茎及び葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200, 300L/10a	2回	7, 14日	圃場A : 3.58 / <0.05 圃場B : 9.96 / 0.08
ねぎ (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A : 0.36 / 0.02 圃場B : 0.88 / 0.01 (4回、7日)
ししどう (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 0.30 / - 圃場B : 0.46 / -
とうがん (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 250L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A : 0.02 / - 圃場B : 0.02 / -
いちじく (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A : 0.18 / - 圃場B : 0.40 / -
もも (果皮)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 400, 500L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A : 2.09 / 0.04 (2回、1日) (#) 圃場B : 4.09 / 0.10 (2回、1日) (#)
もも (果肉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 400, 500L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A : 0.01 / <0.01 (2回、1日) (#) 圃場B : 0.08 / <0.01 (2回、1日) (#)
ネクタリン (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300, 400L/10a	1回	45, 60日	圃場A : 0.01 / - (1回、45日) (#) 圃場B : 0.03 / - (1回、45日) (#)
ネクタリン (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300, 400L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A : 0.18 / - (2回、1日) (#) 圃場B : 0.32 / - (2回、1日) (#)
だいこん (根)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150-200, 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : <0.01 / <0.01 圃場B : <0.01 / <0.01
だいこん (葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150-200, 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 5.07 / 0.05 圃場B : 3.54 / 0.04
はつかだいこん (根)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 100L/10a	1回	3, 7, 14日	圃場A : 0.006 / - 圃場B : 0.012 / -
はつかだいこん (根)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150L/10a	3回	3, 7日	圃場A : 0.04 / - 圃場B : 0.09 / -
はつかだいこん (葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 100L/10a	1回	3, 7, 14日	圃場A : 3.4 / - 圃場B : 6.6 / -
はつかだいこん (葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150L/10a	3回	3, 7日	圃場A : 17.6 / - (3回、7日) 圃場B : 3.9 / -

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【シアゾファミド/代謝物B ^{注2)} 】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
かぶ (根)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150, 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 0.08/<0.01
						圃場B : 0.06/<0.01
かぶ (葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150, 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 14.6/>0.08
						圃場B : 9.72/>0.10
葉たまねぎ (葉及び鱗茎)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150, 120-150L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A : 1.28/>—
						圃場B : 0.88/>—
らっきょう (鱗茎)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200, 300L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A : <0.01/>—
						圃場B : <0.01/>—
ミニトマト (果実)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 200, 300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 1.00/>0.01
						圃場B : 0.72/<0.01
だいす (乾燥子実)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 200, 250L/10a	3回	6, 14, 21日	圃場A : 0.06/<0.01(3回、6日)
					7, 14, 21日	圃場B : 0.04*<0.01(*3回、14日)
だいす (乾燥子実)	2	9.4%フロアブル	原液 播種時種子塗沫 種子重量2%	1回	140, 147, 154日	圃場A : <0.01/<0.01(1回、140日)
					116, 123, 130日	圃場B : <0.01/<0.01(1回、116日)
レタス (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 2.76/<0.01
						圃場B : 0.10/<0.01
サラダ菜 (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150, 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 5.17/>—
						圃場B : 2.44/>—
リーフレタス (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200, 130L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 1.26/>—
						圃場B : 2.18/>—
わけぎ (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 0.75/>—
						圃場B : 1.64/>—
みつば (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A : 2.04/>—
						圃場B : 3.46/>—
とうがらし (果実)	1	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 0.37/>—
とうがらし (果実)	1	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A : 0.80/>—
とうがらし (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A : 0.68/>—
						圃場B : 0.24/>—
葉じょうが (根茎・茎)	2	9.4%フロアブル	500倍 土壌灌注 3000L/10a	3回	3, 14, 30, 45日	圃場A : 1.38/>—
						圃場B : 0.99/>—
えだまめ (さや)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 150, 176-200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 2.34*/>0.02(*3回、7日)
						圃場B : 0.40/<0.05
えだまめ (さや)	2	9.4%フロアブル	原液 播種時種子塗沫 種子重量2%	1回	72, 79, 86日	圃場A : <0.01/<0.01(1回、72日)
					88, 95, 102日	圃場B : <0.01/<0.01(1回、88日)
おかひじき (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A : 4.4/>—
						圃場B : 3.8/>—
こんにゃく (塊茎)	2	9.4%フロアブル	1000倍 株元灌注 3L/m ²	3回	14, 28, 42日	圃場A : 0.03/>—
						圃場B : 0.02/>—
こんにゃく (塊茎)	2	9.4%フロアブル	500倍 土壌灌注 3L/10a	3回	14, 30, 45日	圃場A : 0.09*/>0.01(*3回、30日)
						圃場B : <0.01/<0.01
エンサイ (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A : 2.72/>—
						圃場B : 0.48/>—
水稻 (玄米)	2	9.4%フロアブル	1000倍 育苗箱灌注 0.5L/箱	1回	112, 118日	圃場A : <0.01/>—
						圃場B : <0.01/>—

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下的作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」）

表中、最大使用条件下的作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) 代謝物Bについては、換算係数1.49を用いてシアゾファミドに換算した値で示した。

注3) (#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注4) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

シアゾファミド海外作物残留試験一覧表

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) シアゾファミド／代謝物B
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ホップ（乾燥実）	1	34.5%水和剤	7.73, 7.66, 8.06, 8.03, 8.10, 8.10g ai./10a 敷布	6回	4日	圃場A:6.9/0.13
ホップ（乾燥実）	1	34.5%水和剤	8.23, 8.32, 8.37, 8.22, 8.08, 8.10g ai./10a 敷布	6回	2日	圃場A:3.6/0.28(#[^{注2)})
ホップ（乾燥実）	1	34.5%水和剤	8.28, 8.27, 8.28, 8.31, 8.22, 8.28g ai./10a 敷布	6回	3日	圃場A:2.5/0.45
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.4g ai/10a 土壌散布+17.8、 18.0、16.47、17.0g ai/ha 敷布	5回	15日	圃場A:<0.01/<0.01
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.7g ai/10a 土壌散布+16.7、 17.7、16.5、16.7g ai/ha 敷布	5回	15日	圃場A:<0.01/<0.01
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.6g ai/10a 土壌散布+17.3、 17.6、18.0、17.9g ai/ha 敷布	5回	14日	圃場A:0.023/<0.01(#[^{注2)})
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.8g ai/10a 土壌散布+17.8、 17.1、18.2、17.3g ai/ha 敷布	5回	15日	圃場A:<0.01/<0.01(#[^{注2)})
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.5g ai/10a 土壌散布+17.4、 17.7、17.4、17.4g ai/ha 敷布	5回	14日	圃場A:0.027/<0.01
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.4g ai/10a 土壌散布+17.8、 18.0、17.9、18.0g ai/ha 敷布	5回	16日	圃場A:<0.01/<0.01(#[^{注2)})
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.2g ai/10a 土壌散布+17.6、 17.8、17.5、17.6g ai/ha 敷布	5回	16日	圃場A:<0.01/<0.01(#[^{注2)})
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.4g ai/10a 土壌散布+18.0、 18.3、17.6、18.4g ai/ha 敷布	5回	14日	圃場A:<0.01/<0.01(#[^{注2)})
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.3g ai/10a 土壌散布+17.5、 17.5、17.7、17.4g ai/ha 敷布	5回	13日	圃場A:0.040/<0.01
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.3g ai/10a 土壌散布+17.9、 17.4、17.4、17.6g ai/ha 敷布	5回	13日	圃場A:0.035/<0.01(#[^{注2)})
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.9g ai/10a 土壌散布+18.1、 18.6、17.8、18.1g ai/ha 敷布	5回	14日	圃場A:0.026/<0.01(#[^{注2)})
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.4g ai/10a 土壌散布+17.9、 17.4、17.3、17.5g ai/ha 敷布	5回	14日	圃場A:0.045/<0.01
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.9g ai/10a 土壌散布+17.7、 17.6、17.7、17.7g ai/ha 敷布	5回	14日	圃場A:0.033/<0.01(#[^{注2)})
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	16.8g ai/10a 土壌散布+17.7、 17.3、17.6、18.2g ai/ha 敷布	5回	14日	圃場A:<0.01/<0.01(#[^{注2)})
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.0g ai/10a 土壌散布+17.7、 17.2、17.9、17.8g ai/ha 敷布	5回	14日	圃場A:<0.01/<0.01(#[^{注2)})
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	18.0g ai/10a 土壌散布+18.1、 17.0、16.9、16.7g ai/ha 敷布	5回	13日	圃場A:0.030/<0.01
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.4g ai/10a 土壌散布+17.7、 17.6、16.3、18.6g ai/ha 敷布	5回	15日	圃場A:<0.01/<0.01(#[^{注2)})
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.6g ai/10a 土壌散布+18.3、 18.0、17.4、18.2g ai/ha 敷布	5回	15日	圃場A:<0.01/<0.01(#[^{注2)})
パパイヤ（果実）	1	9.4%水和剤	-	4回	12日	圃場A:0.10(#[^{注2)})

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#[^{注2)})印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.05		申			<0.01, <0.01
小麦	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01
大豆	0.3	0.3	○			0.06(\$), 0.04
小豆類	0.1	0.1	○			0.02 0.02
ばれいしょ	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01
こんにゃくいも	0.3	0.3	○			0.09(\$), <0.01
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.3	0.3	○			0.04, 0.09(はつかだいこんの根)
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	25	25	○			17.6(\$), 3.9(はつかだいこんの葉)
かぶ類の根	0.3	0.3	○			0.08, 0.06
かぶ類の葉	20	20	○			14.6, 9.72
はくさい	2	2	○			0.10, 0.72(\$)
キャベツ	0.7	0.7	○			0.28(#), 0.16(#)
ケール	15	15	○			(こまつな参照)
こまつな	15	15	○			9.10(\$), 3.76
きょうな	10	10	○			1.85, 4.94
チングンサイ	3	3	○			1.02(\$), 0.76
ブロッコリー	1	1	○			0.24, 0.40
その他のあぶらな科野菜	20	20	○			5.1, 12.5(\$)(はたけな)
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	10	10	○			5.17, 2.44(サラダ菜)
たまねぎ	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01
ねぎ(リーキを含む。)	2	2	○			0.36, 0.88
わけぎ	5	5	○			0.75, 1.64(\$)
その他のゆり科野菜	3	3	○			1.28, 0.88(葉たまねぎ)
にんじん みつば	0.09 10	0.09 10	○	0.09	アメリカ	【<0.01–0.045(n=18)(米国)】 2.04, 3.46(\$)
トマト	2	2	○			1.00, 0.72(ミニトマト)
ピーマン	1	1	○			0.33(\$), 0.22
なす	0.5	0.5	○			0.11, 0.10
その他のなす科野菜	2	2	○			0.68(\$), 0.24(とうがらし)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.7	0.7	○			0.08, 0.23(\$)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.7	0.7	○			(きゅうり参照)
しろうり	0.1	0.1				
すいか	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01
メロン類果実	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01
まくわうり	0.1	0.1				
その他のうり科野菜	0.1	0.1	○			0.02, 0.02(とうがん)
ほうれんそう	25	25	○			16.2(\$), 7.17
しょうが	3	3	○			1.38, 0.99(葉しょうが)
えだまめ	5	5	○			2.34(\$), 0.40
その他の野菜	10	10	○			4.4, 3.8 (おかひじき)
みかん	0.7	0.7	○			0.25(\$), 0.05
なつみかんの果実全体	2	2	○			0.54(#), 0.47
レモン	5	5	○			2.03(\$), 0.33
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	5	5	○			(レモン参照)
グレープフルーツ	5	5	○			(レモン参照)
ライム	5	5	○			(レモン参照)
その他のかんきつ類果実	5	5	○			(レモン参照)
もも	0.3	0.3	○			0.01, 0.08(##\$)
ネクタリン	1	1	○			0.18, 0.32(##\$)
いちご	0.7	0.7	○			0.29(\$), <0.01
ぶどう	10	10	○			6.36, 1.90(小粒種)

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
パパイヤ	0.5	0.5		0.5	台湾	【0.10(#)(台湾)】
その他の果実	1	1	○			0.18, 0.40(\$)(いちじく)
ホップ	10	10		10.0	アメリカ	【2.5-6.9(n=3)(米国)】
その他のスパイス	10	10	○			3.38(\$), 1.51(みかんの果皮)
その他のハーブ	15	15	○			6.29(\$), 3.06 (畑わさびの茎葉)/ 3.58, 9.96 (畑わさびの花、花茎及び葉)

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

「基準値現行」欄には、平成25年10月21日に開催された薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会において決議された内容を示した。

シアゾファミド推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
米(玄米をいう。)	0.05	8.2	4.3	5.3	9.0
小麦	0.05	3.0	2.2	3.5	2.5
大豆	0.3	11.7	6.1	9.4	13.8
小豆類	0.1	0.2	0.1	0.1	0.4
ばれいしょ	0.05	1.9	1.7	2.1	1.8
こんにゃくいも	0.3	0.4	0.1	0.2	0.4
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.3	9.9	3.4	6.2	13.7
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	25	42.5	15.0	77.5	70.0
かぶ類の根	0.3	0.8	0.2	0.0	1.5
かぶ類の葉	20	6.0	2.0	2.0	12.0
はくさい	2	35.4	10.2	33.2	43.2
キャベツ	0.7	16.9	8.1	13.3	16.7
ケール	15	3.0	1.5	1.5	3.0
こまつな	15	75.0	27.0	96.0	96.0
きょうな	10	22.0	4.0	14.0	27.0
チンゲンサイ	3	5.4	2.1	5.4	5.7
ブロッコリー	1	5.2	3.3	5.5	5.7
その他のあぶらな科野菜	20	68.0	12.0	16.0	96.0
レタス(サラダ菜及びらしやを含む。)	10	96.0	44.0	114.0	92.0
たまねぎ	0.05	1.6	1.1	1.8	1.4
ねぎ(リーキを含む。)	2	18.8	7.4	13.6	21.4
わけぎ	5	1.0	0.5	0.5	1.0
その他のゆり科野菜	3	1.8	0.3	0.6	3.6
にんじん	0.09	1.7	1.3	2.0	1.7
みつば	10	4.0	1.0	1.0	5.0
トマト	2	64.2	38.0	64.0	73.2
ピーマン	1	4.8	2.2	7.6	4.9
なす	0.5	6.0	1.1	5.0	8.6
その他のなす科野菜	2	2.2	0.2	2.4	2.4
きゅうり(ガーリックを含む。)	0.7	14.5	6.7	9.9	17.9
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.7	6.5	2.6	5.5	9.1
しろうり	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
すいか	0.05	0.4	0.3	0.7	0.6
メロン類果実	0.05	0.2	0.1	0.2	0.2
まくわうり	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
その他のうり科野菜	0.1	0.3	0.1	0.1	0.3
ほうれんそう	25	320.0	147.5	355.0	435.0
しようが	3	4.5	0.9	3.3	5.1
えだまめ	5	8.5	5.0	3.0	13.5
その他の野菜	10	134.0	63.0	101.0	141.0
みかん	0.7	12.5	11.5	0.4	18.3
なつみかんの果実全体	2	2.6	1.4	9.6	4.2
レモン	5	2.5	0.5	1.0	3.0
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	5	35.0	73.0	62.5	21.0
グレープフルーツ	5	21.0	11.5	44.5	17.5
ライム	5	0.5	0.5	0.5	0.5
その他のかんきつ類果実	5	29.5	13.5	12.5	47.5
もも	0.3	1.0	1.1	1.6	1.3
ネクタリン	1	0.1	0.1	0.1	0.1
いちご	0.7	3.8	5.5	3.6	4.1
ぶどう	10	87.0	82.0	202.0	90.0
パパイヤ	0.5	0.1	0.2	0.1	0.1
その他の果実	1	1.2	0.4	0.9	1.7
ホップ	10	1.0	1.0	1.0	1.0
その他のスパイス	10	1.0	1.0	1.0	2.0
その他のハーブ	15	13.5	4.5	1.5	21.0
計		1218.7	634.3	1325.2	1489.7
ADI比(%)		13.0	22.6	13.3	15.6

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

(参考)

これまでの経緯

平成13年 4月26日	初回農薬登録
平成16年 6月25日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ほうれんそう及びこまつな）
平成16年 7月12日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成16年11月 4日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成17年 4月27日	残留農薬基準告示
平成17年 6月 1日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：かんきつ、非結球あぶらな科葉菜類、あずき、ブロッコリー、みょうが、しょうが、畑わさび及びねぎ）
平成17年 6月14日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成17年11月29日	残留農薬基準告示
平成18年 5月11日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成18年11月29日	残留農薬基準告示
平成19年 5月15日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：だいす、レタス、わけぎ、みつば、とうがらし類、葉しょうが、えだまめ及びおかひじき）
平成19年 5月22日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成19年 9月 6日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成20年 4月30日	残留農薬基準告示
平成21年 9月14日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：キャベツ及びはくさい）
平成21年10月20日	インポートトレランス申請（にんじん及びパパイヤ）
平成21年10月27日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成22年 3月18日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成23年 3月15日	残留農薬基準告示

平成22年 9月21日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：かぼちゃ）
平成22年11月10日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成23年 7月21日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成24年12月28日	残留農薬基準告示
平成23年10月27日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：はつかだいこん、はたけな、もも、ネクタリン）
平成24年 1月19日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年 3月13日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：こんにゃくいも）
平成24年 6月22日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年 7月 2日	残留農薬基準告示
平成24年 6月29日	インポートトレランス申請（ホップ）
平成24年 8月21日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年12月10日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年10月22日	残留農薬基準告示
平成25年 2月 4日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：こんにゃく及びズッキーニ）
平成25年 6月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成25年 7月29日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年10月11日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成25年10月21日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成25年 8月 5日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：水稻）
平成25年11月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請

平成26年 1月27日 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知

平成26年 7月30日 薬事・食品衛生審議会へ諮詢

平成26年 7月31日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

石井 里枝	埼玉県衛生研究所水・食品担当部長
延東 真	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
○大野 泰雄	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団理事長
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斎藤 貢一	星薬科大学薬品分析化学教室教授
佐藤 清	一般財団法人残留農薬研究所技術顧問
高橋 美幸	農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所上席研究員
永山 敏廣	明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター薬学教育部門教授
根本 了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
宮井 俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
山内 明子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長
由田 克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成 浩一	静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授
鰐渕 英機	大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学教授

(○ : 部会長)